

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童支援事業所 Neo		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 2月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 13日	～	令和8年 2月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの相談については、適切な助言ができるよう職員間で情報を共有し、迅速に対応するよう心がけている。 保護者に直接伝えられない分、連絡帳には支援の内容や子どもの様子を詳しく、わかりやすく記載するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な助言ができるよう、研修等に参加し知識を身につけたい。 研修等で得た知識は事業所内でアウトプットし、職員全体の質の向上に努めていく。
2	訪問先との連携	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先の理念や支援手法を尊重しながら、よりよい支援につなげるためにはどうしたらよいかを具体的に伝えるよう取り組んでいる。 訪問先からの相談には適切な助言ができるよう心がけ、こちらの支援の意図などもしっかり伝えるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容の提案はしているものの、現場での実践が難しいこともあるため、訪問先に負担の内容な支援内容の提案を心がけていく。 訪問先との連携をもっと深めていくためには、意見交換の場が増えるとよいと感じる。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間での情報共有はしているものの、伝え漏れが時々あるため、しっかり情報共有をしていきたい。	ミーティング時に支援内容の振り返り等を行い、情報共有をしているが、兼務になっていることもあり時間が足りないと感じることがある。	<ul style="list-style-type: none"> 余裕を持った支援・余裕を持った時間の使い方ができるよう、業務分担の見直しも必要なのでは、と考える。 伝えたい内容は必ずメモしておき、伝え漏れがないようにしていく。また、後から伝え漏れに気が付き一斉に共有が難しい場合には、職員全員に伝えられるようメモやLINE等での伝達も有効だと思う。
2			
3			